

12079 英語で読む児童文学 Juvenile Literature in English		2 年次～ 後期 2 単位	
担当者	浅野 敏夫	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関 連 資 格	教職（E）
サブタイトル	アメリカの主な児童文学を読む		
授業内容 ・ ねらい	英米は児童文学の名作を数々生み出してきた。もちろん、英米以外の国々にも名作は数多くあるわけだが、質・量において、多様さにおいて英米が多数を占めていることは否定できない。この授業ではアメリカにしばって、代表的な作品の抜粋を読みながら、時代の流れにおいて児童文学がどのように変遷してきたかを把握してみたい。		
授業計画	読む予定にしているのは以下の作品。 オルコット『若草物語』（Alcott, Little Women）、ワイルダー『大草原の小さな家』（Wilder, Little House on the Prairie）、バーネット『小公子』dai（Burnett, Little Lord Fauntleroy）、ホワイト『シャーロットの贈り物』（White, Charlotte's Web）。 授業第1回：英米の児童文学史と代表的作品についての講義。 第2～5回：Little Women 第6～8回：Little House on the Prairie 第9～11回：Little Lord Fauntleroy 第12～15回：Charlotte's Web 受講生にランダムに指名し、代表して読んで訳なり、要約を発表してもらう。その上で、私が質疑応答を求め、クラス全体の理解を確認していく。予習はかならずやってきてもらう。 なお、映画化されている作品は、ビデオ、DVDで観てもらうことがある。作品全体を読むことができないから、映画を観てその補助にする。		
教科書 参考書	教材その他は私が用意する。		
評価方法	2回のテスト、発表の姿勢・熱意、出欠状況を総合して評価を出す。		
事前準備学習 履修条件等			